

第37号

(2019年10月1日発行)

発行:中央大学学員会 出版白門会

CONTENTS

(お名前は敬称略)

▽第20回定期総会開催	1
▽総会・懇親会クイズより	1
▽「第10回 地図を通して知る東京」	2
▽私の仕事場(エデュプレス)	2
…齋藤毅	
▽新役員紹介	2
▽白門同窓生の本	3
▽文真堂書店視察と親睦の旅	3
▽懇親会クイズの解答	3
▽令和元年度役員	4
▽決算報告・新年度予算	4
▽告知板	4
▽編集後記	4

出版白門会の関連行事予定

- ①会報発行 10月1日
 - ②箱根駅伝予選会応援
10月26日(土)9時30分
JR立川駅東改札口前集合
 - ③第19回能楽鑑賞会
12月14日(土)12時開場 13時開演
会場:国立能楽堂(渋谷区千駄ヶ谷4-18-1) /
JR千駄ヶ谷駅より徒歩5分
狂言 柑子(こうじ) 善竹彌五郎(大蔵流)
能 葛城(かつらぎ) 大和舞(やまとまい)
浅見 真州(観世流)
※「申し込み方法」「内容詳細」は同封の申し込みチラシをご覧ください。
 - ④箱根駅伝復路応援(予定)
1月3日(金)復路ゴールの中央大学応援団前
 - ⑤出版白門会新年会と懇親会
1月24日(金)18時30分～
会場:出版クラブ(神保町) 会費:6,000円
※後日、出欠確認を兼ねたご案内をお送りいたします。
 - ⑥第11回「街歩き」3月頃(予定)
※詳細が決まり次第、HPと会員メールにてご案内いたします。
- 行事に関するお問い合わせは、下記メールでご連絡ください。
E-mail:pub.hakumon@gmail.com
なお、上記行事のほか、皆さまの仕事に役立つ企画、あるいは懇親の企画を検討中です。

出版白門

● 出版界に出版白門の知恵と情熱を! ●

●基本方針

1. 会員ニーズに応える活動による、会員満足度の向上
2. 中央大学、学員会、他支部との連携強化
3. 会費徴収促進による、財政の健全化

第20回定期総会開催

記念すべき第20回定期総会が令和元年7月19日(金)、大村雅彦中央大学理事長、黒田克司中央大学学員会副会長の2名を来賓に迎え、会員37名の出席の下、千代田区神田神保町の出版クラブ会館で開催された。

冒頭、昨年12月に逝去された小関元副会長に黙祷を捧げた。その後、風間会長の進行により、30年度事業報告、決算報告、令和元年度役員、事業計画、予算の5議案について報告・提案が行われ、全議案が原案通り承認された。役員改選では、2名の新役員が誕生した。書記に平成29年卒の立石将太郎さん(トーハン)、組織委員長に平成30年卒の山本興陽さん(ダイヤモンド社)が就き、課題であった役員の若返りが一歩進んだ形となった。2名からは、フレッシュな所信表明の挨拶があり、期待を込めた温かな拍手で就任を祝った。

第二部の懇親会では、いつもとは趣向を変え、校歌斉唱で幕を開けた。続いて来賓の大村理事長からは大学の中長期事業計画に触れ、2023年度からの法学部都心移転は社会的にも大きなインパクトがある。OB、OGのご支援をお願いし

たいとの挨拶に続き、学員会黒田副会長からは、大学の2025visionの実現で母校の価値を高めていく為に、250の支部で応援していきたいとの挨拶があった。続いて挨拶に立った風間会長からは20周年の節目にあたり、この会が今後も続く為には若く優秀な人材が必要。出版白門会が先頭に立って出版界を盛り上げていこうと乾杯の音頭を取り、懇親会がスタートした。

初参加者紹介では、凸版印刷の三崎崇之助さん、文学部3年の現役中大生の村嶋章紀さんより自己紹介があり、会場からは盛大な歓迎の拍手が沸き起こった。

恒例の「テーブル対抗中大クイズ」では、20周年にちなみ、数字の20に関する難問(例えば中大野球部の背番号20の選手のポジションは?)が続き、4問を終わって全5チームが1問正解という低回答率で並び、最後の決勝問題を見事に制した竹チームが優勝を飾った。続いて、恒例の土屋会計監査のリードで応援歌とエールで大いに盛り上がりを見せ、最後に、森副会長の中締めで、名残を惜しみつつ閉会となった。



総会風景

和やかに歓談

ご来賓の皆さまと

酔の助での二次会

総会・懇親会クイズより

【第1問】出版白門会は19年前の2000年(平成19年)10月21日に設立されましたが、同年の中央大学関連の出来事は以下のどれでしょうか。

- ①第74回日本選手権水泳競技大会で、女子100m平泳ぎ・200m平泳ぎで田中雅美が1位、女子100m背泳ぎ・200m背泳ぎで中村真衣が1位だった。
- ②旧アジア経済研究所庁舎を取得し地下1階、地上10階市ヶ谷校舎とした。
- ③多摩都市モノレール「立川北-多摩センター」間が開通した。
- ④文学部が創立50周年を迎えた。

【第2問】多摩モノレール開通前の、交通機関は京王線がメインでした。さて、最寄りの駅、多摩動物公園駅から数えて、20番目の駅はどこでしょう。(各駅停車)

- ①つつじが丘
- ②千歳鳥山
- ③芦花公園
- ④桜上水

【第3問】中央大学は箱根駅伝において、数々の記録を持っています。出場回数91回、優勝回数14回などと並んで、連続出場記録87回という不滅の記録ももっています。さて、連続出場20回目の年の総合成績は何位だったでしょうか。

- ①優勝
- ②2位
- ③3位
- ④4位

【第4問】2019年東都野球春のリーグ戦、惜しくも東洋大について2位でした。さて、野球部で背番号20を付けている選手のポジションはどこでしょうか。

- ①投手
- ②捕手
- ③内野手
- ④外野手

【第5問】第20回オリンピックミュンヘン大会で、中大出身、中大生が獲得した金メダルは何個だったでしょうか。

- ①1個
- ②2個
- ③3個
- ④4個

(答えは3P)

出版白門会ホームページアドレス <http://pub-hakumon.jimdo.com/>

facebook 出版白門会サイトへのアクセスは検索サイトの「出版白門会(中央大学学員会職域支部)」から…

第10回 地図を通して知る東京 — 荻窪界限 —

出版白門会の定番行事となった「地図を通して知る東京」。記念すべき10回目は、「荻窪の文化に触れながら、まち歩き」と題し、荻窪界限の文学遺跡や文化人の旧邸宅跡を、地図を片手に散策した。

5月18日(土)の午後、荻窪駅北口広場に参加者8名集合。小竹顧問、土屋氏の案内で駅北側エリアからスタートした。地元杉並に根ざし地域文化振興に力を注いできた土屋氏の熱のこもった案内に一同感心し



荻窪駅北口広場集合



太宰旧宅跡

つつ、弁天池公園(郷土博物館分館)⇒ウェルファーム杉並(太宰治旧居跡)⇒井伏鱒二邸、大山邸とまわるころには、予定時間を大分超えていた。

押せおせとなっても全然気にしないのが出版白門会。後半の駅の南側は、小竹顧問の案内で、長屋門⇒西郊ロジック⇒かつら文庫(石井桃子)⇒大田黒公園(大田黒元雄)⇒角川庭園(角川源義)⇒荻外荘(近衛文麿)と、荻窪所縁の文化人の邸宅をまわる。5月にしてはやや蒸し暑い気候の中



大田黒公園にて

で荻窪駅南口に無事帰還し、駅前の「寄港地」(出版人が多く立ち寄る店とのこと)にて懇親。一同、乾いたのどを潤し大いに盛り上がった。(堀川)



懇親会場「寄港地」

私の仕事場(株式会社エデュプレス)

齋藤 毅

本年7月にエデュプレスという会社に転職いたしました。

「エデュプレス(EDUPRESS)」という社名は「EDUCATIONAL MIND & PRESS SOLUTION」に由来し、事業内容といたしましては、教育業界の一員として、教材を中心に各種印刷物、販促ツールなどの制作をはじめとした、お客様の情報発信・コミュニケーションのサポートを行っております。法人設立から37年になる会社です。自社工場での印刷・製本はもちろん、動画、e-ラーニング・WEBなどのシステム開発、販売促進のためのプランご提案など、「情報発信・コミュニケーション」にかかわるお客様の課題をさまざまな形で解決しております。

私自身と致しましては前職から約22年間出版印刷を中心とした仕事に携わらせていただき、出版社の皆様が出版される本をいかに綺麗で読みやすくなるように印刷・製本を行うか、適切な販売時期にご提供出来るか、等々を工場と試行錯誤し、つくりあげた本に出版社の皆様、読者の皆様のご満足をいただけることが喜びであり、この

「モノづくり」については、今後もずっと突き詰めていきたいと思っております。

転職して約3ヶ月が経ち、前職と同じ営業職をしておりますが、皆様ご存じの通り、同業が数千社ある飽和状態の中で、「モノづくり」だけのご提案では、なかなかお客様に受け入れていただけませんし、残念ながら需要も年々少なくなっております。私自身もお客様との打ち合わせの中では、場合によっては紙への印刷ではなく、電子媒体を提案するなど、印刷のプロとして、印刷を減らす提案や、お客様の情報発信が最も効率的に行える方法をお客様と一緒に考



えさせていただく、という業務にシフトしつつあります。当社のスタッフも現在は製版・印刷・製本を行うメンバーと同じ人数くらい、紙以外のデザイン制作、システム開発や、お客様の課題に対して解決策を企画・立案するメンバーがおります。

今後も情報発信に関して様々なご経験、ご実績を積んでいらっしゃる出版白門会の皆様のお話を伺いながら、さらなる変化を遂げられますよう、研鑽してまいりますと思っております。今後も変わらぬご交誼を賜りますようお願い申し上げます。



新役員紹介

(アイウエオ順)

●書記・立石 将太郎さん

このたび利根川伸行前書記、古寺雄大前書記の後任といたしまして書記の任を拝命いたしました、トーハンの立石将太郎と申します。

前組織委員長の高木様より、「若い力を白門出版会で是非発揮し、会員数増大や会の若返りの手助けをしてほしい」とのご推挙をいただきまして、このたびの任と相成りました。

書記ということで幹事会の諸先輩の皆さま方のサポートとして頑張らせていただきます。

また、同じく新任役員となるダイヤモンド社の山本さんとともに、会の拡大、活性化という目下の課題にも全力で取り組んでいきたいと考えております。

まだまだ若輩者で、皆様にご心配をおかけすることもあるかと思いますが、トーハンの代表として若手の代表として頑張らせていただきますので、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



●組織委員長・山本 興陽さん

組織委員長を拝命しました山本興陽と申します。現在はダイヤモンド社で経済記者をやっております。社会人歴2年目の24歳ということで多くの皆様にとっては「若造」と思いますが、精いっぱい頑張りたいと思いますので、ご支援よろしくお願い致します。

以下の2つを心掛けながら、職を邁進してまいります。1点目が、「組織の血を入れ替えること」です。新たな会員の獲得や、私自身の経験を生かして組織の活性化を図っていきたく思っております。2点目は、「より影響力の大きい組織にすること」です。大学と連携を行ったり、積極的に情報発信をすることによって魅力ある組織にしていきたいです。任期が満了する2年後には対内的にも対外的にも変化したと思われるようにしていきたいと思っておりますのでどうぞ、よろしくお願い致します。



白門同窓生の本

脳科学捜査官真田真希 クライシスレッド

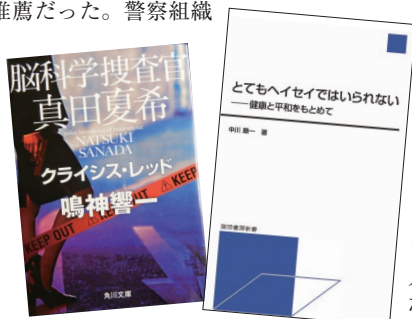
鳴神響一（1998年法学部卒）角川文庫 2019年7月刊

今年1月の新春講演会にて講演をいただいた、鳴神響一氏の最新刊。

脳科学捜査官真田真希シリーズの第4弾、クライシスレッドです。神奈川県警の心理職特別捜査官の真田真希は精神科の医師のライセンスを持つ異色の捜査官。警察官僚の織田とのドライブで湘南へやってきたが、二人だけのデートを潰しかねない…織田から発せられた言葉は、「特殊任務」への推薦だった。警察組織から外れた一匹狼の上杉警視が勤務する根岸分室での極秘捜査。前作を含め夏希は危険な任務を特殊な「心理分析」で解決する、書下ろし長編警察小説。

(ISBN978-4-04-108317-8

¥600 + 税)



とてもヘイセイではいられない

中川順一（1983年文学部卒）諏訪書房 2019年6月刊

著者からのメッセージ

昭和に生まれて28年経ったある日、今日から平成だぞと言われた。変な元号だと思っていたが、いつの間にか馴染んで28年経ったある日、再来年から元号を変えるぞと言われた。

時代のネーミングを決める国家の中枢に参画することができない庶民にも、日常の喜怒哀楽はある。そんな思いで身のまわり3メートルの範囲のことを縷々書き綴ったコラムを、ブログもSNSもなかった31歳の時から周囲に書き綴って送っていたら、とうとう還暦も近くなった。書いた原稿をPR誌や月刊誌のコラムに使いまわし、誰に頼まれたわけでもないが、書き溜めた原稿は何度か冊子にした。そして今回、平成が終わる前にまたまとめたのが本書である。「地平かに天成る」の平成は、気がつくとも庶民の健康と平和を脅かす状態にますます入り込んでいた。本が売れないと言われて久しい中、そんな本を出してどうするのだと言われる。このように先輩の好意で紹介していただいても限りがある。こうなったら、編み笠をかぶり鉢をもって他人の家の玄関先に立ち、この本を朗読するしかない…といった調子の本。ぜひ、「健康本」と誤解してお買い求めを。

(ISBN978-4-903948-81-2 新書判 定価1,000円+税)

文真堂書店視察と親睦の旅

初日（7月13日）正午、高崎駅に集合した6名+高崎に赴任中の会員1名で駅近くのお蕎麦屋さんで結団式の後、レンタカー2台に分乗して店舗ごとに特色を持たせた文真堂書店さん3店舗への視察研修に向け出発。

それにしても超まじめな出版白門会。幹事の旅行には必ず書店ストアコンパリゾンが付き物だ。

一店舗目は倉賀野店へ。タイムスリップゲオとして、本はもちろん、CD、DVD、コミックのセルとレンタル、そしてTVゲームのセルと買取まで幅広い需要を満たしている。明るい店内に店員さん入魂のPOPがひかる。来店された読者に、この1冊をなんとしてでもお伝えしようという熱意がひしひしと伝わってきた。

二店舗目は新しく展開を開始したフィットネス事業の第2号店「スポーツクラブアクトスWILL G上並榎」へ。書店の併設事業として現在最も有望視される施設だ。その運営には様々な施策が展開されている。一方そのチラシから地域最安値をかけたの激しい競争を感じた。

三店舗目はブックマンズアカデミー前橋店へ。言わずと知れた大型書籍専門店。前橋・高崎地区の知の集積として地域の期待を一身に背負っているお店だ。



以上1952年（昭和27）創業の老舗の最前線は、われわれに様々な顔を見せてくれた。今後の高木新社長の手腕に期待して止みません。そしてわれわれを温かく迎えてくれた社員の皆様に誌面に借りて感謝申し上げます。

さて、翌日が降雨の予報だったので、少し早めに視察を切り上げ、翌日に予定していた吹割の滝観光を済ませ、一路今夜の宿へ向かう。途中で入手した沼田の地酒「左大臣」など、二次会用の飲み物も各種用意、今夜の酒宴が楽しみになる。

遅れて駆けつけた2名の会員を合わせて9名の宴会。用意した飲料が不足すれば宿の自販機から調達（自販機が売り切れになった?）。みんなで床に就いたのは午前2時になってしまった。教訓➡二次会三次会のビールはケースで買っておこう!!（笑）

不安の中し二日目は雨模様。ゴルフ組4人が出発した後、観光組5名は朝食席に大瓶のビール付き。但し運転担当の2名は除く。起床時から出発間際までの温泉入浴や買い物など、宿でゆっくりと時間を過ごし、出発が10時半過ぎ。

さらに予定していた真田の郷観光も省略、高崎単身赴任中の会員兼ドライバーの案内通りに途中の街道筋の売店で昼食用の「うめし弁当」を入手。

昼食会場として訪れた道の駅では飲み物（アルコール入り泡吹き飲料）が入手できないため、片道15分のコンビニまでドライブさんに調達を依頼。弁当も飲み物も美味しかったなァ。

その後、足利にある栗田美術館へ向かう。途中で文真堂さんの4店舗目を視察。

このお店はGEO（レンタルビデオ店）を併設。店内にはゲームコーナーも。

午後3時ころ美術館に到着。

ここは伊萬里、鍋島の磁器を展示するためだけに創建された美術館。創立者・栗田英男氏は白門法科出身（中退）。昭和20年代に衆議院議員3期当選の鉱山主。

江戸期に海外に輸出された伊萬里、鍋島に限定して買い集め、その蒐集数は世界最大級だそうです。そのスケールに圧倒！そして伊萬里に感動！一見の価値があります。

ここで会員Tさんと別れ、ゴルフ組がホールアウトした頃にあわせて、美術館から高崎駅へ向かう。

8名が合流し、二日間ツアーの打ち上げ会、挙行。楽しかったですね。

なお、雨と濃霧の中でラウンドしたゴルフ組の成績は50年間の機密、封印されるとのこと。

帰路、7名で新幹線に乗車、さすがに車中では打ち上げ2次会にはなりませんでした。

今回の研修企画あるいは食の倒れ企画、会員の皆さんの参加をお待ちしています。

(文責=朝妻・阿部)



懇親会クイズの解答

【第1問】（正解）③の多摩都市モノレール「立川北ー多摩センター」間が開通した、です。

因みに、この年には、火山活動が続く三宅島の全島民に島外への避難指示が出たり、シドニーオリンピックで高橋尚子がマラソンで金メダル、と言った出来事がありました。なお、問題中の①は1998年、②は1999年、④は2001年の出来事でした。

【第2問】（正解）③の芦花公園。

因みに、①つつじが丘、17番目 ②千歳鳥山、19番目 ④桜上水、23番目

【第3問】（正解）④の4位 1949年第25回は 往路9位 復路1位 因みに、1925年から2016年（平成28）までの中で、第24回は1位、

【第4問】（正解）①の投手。

因みに、選手の名前は後藤茂基さん、城西大城西高出身2年 10試合3勝1敗

【第5問】（正解）④の4個

因みに、男子バレーボール（嶋岡健治、横田忠義、木村憲治）、柔道中量級（関根忍）

令和元年度役員

会長 風間賢一郎 (中央社 OB)	幹事長 竹林 聡 (日本出版販売)	事業委員長 堀川 隆 (里文出版)
副会長 鹿谷 史明 (ダイヤモンド社)	副幹事長 齋藤 毅 (エデュプレス)	広報委員長 北村 信治 (メディックメディア)
理事 森 武文 (講談社)	書記 立石将太郎 (トーハン)	
安部 英行 (学事出版)	会計 島崎 修 (ディスカバリー)	顧問 上瀧 博正 (全国出版協会)
一戸 裕子 (羊土社)	藤原 隆通 (日本経済新聞出版社)	顧問 小竹 正倫 (地図協会)
森岡 憲司 (中央社)	会計監査 土屋 隆一 (IPCビジョン)	顧問 朝妻 伸雄 (集英社 OB)
白石 紀一 (檜書店)	組織委員長 山本 興陽 (ダイヤモンド社)	

決算報告・新年度予算

中央大学学会出版白門会 平成30年度決算報告

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

収入の部		(単位:円)
科目	決算額	摘要
前年度繰越金	876,680	前年度からの繰越金
会費収入	321,000	年会費5,000円×62人、年会費法人会員10,000円×1法人、新入会費1,000円×1人
各種会費収入	606,800	総会会費、新年会費、学員会祝金、デジタル出版セミナー会費など
(内訳) 総会会費	291,000	6,000円×36人、2次会費、学員会祝金、大学祝金
新年会会費	265,800	6,000円×38人、2次会費
その他	50,000	万引防止セミナー会費(27名)、懇親会費(12名)
学員会補助金	100,000	支部活動支援費(100,000円)
寄付	8,646	幹事寄付
雑収入	9	会計口座利子
総計	1,913,135	

支出の部		(単位:円)
科目	決算額	摘要
事業費	985,007	総会関連費用、理事会関連費用、新年会関連費用、会報製作費など
(内訳) 総会費	341,864	平成30年7月20日
理事会費	16,200	平成30年7月20日
新年会費	353,524	平成31年1月25日
幹事会費	0	
会報製作費	233,069	会報34号、35号製作費、発送料など
その他事業費	40,330	能産員会関連費用、万引防止セミナー関連費用、街歩き会懇親会費補助など
事務費・雑費	4,628	振込手数料など
庶務費	0	
交際費	10,000	ホームカミングデー提供品代
繰越金	913,500	次年度への繰越金
総計	1,913,135	

中央大学学会出版白門会会計
島崎 修
藤原 隆通
中央大学学会出版白門会会計監査
土屋 隆一

中央大学学会出版白門会 令和元年度予算

自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

収入の部		(単位:円)
科目	予算額	摘要
繰越金	913,500	前年度からの繰越金
会費	338,000	入会金1,000円×3人、年会費5,000円×65人、法人会員10,000円×1法人
各種会費	630,800	総会会費、新年会会費、その他事業参加費他
(内訳) 総会会費	303,000	6,000円×38人、2次会費など
新年会会費	277,800	6,000円×40人、2次会費など
その他会費	50,000	その他事業会費
学員会補助金	120,000	支部活動支援費100,000円、講師料補助20,000円
寄付金	10,000	幹事寄付など
雑収	9	会計口座利子など
合計	2,012,309	

支出の部		(単位:円)
科目	予算額	摘要
事業費	1,051,200	会報製作費、総会費、その他事業活動費
(内訳) 総会費	350,000	
理事会費	16,200	
新年会費	360,000	
幹事会費	5,000	
会報製作費	240,000	年2回(4月、10月)発行予定
その他事業費	80,000	講演会費、事業費、名簿作成費、読書推進活動費など
事務費・雑費	10,000	事務用品、交通費、振込手数料等
庶務費	20,000	
交際費	30,000	学員会出席祝儀、ホームカミングデー賞品など
繰越金	901,109	次年度以降に繰り越すべき会費等
合計	2,012,309	

中央大学学会出版白門会会計

告知板



■令和の時代が始まり出版白門会において新執行部が誕生しました。特に組織委員長に就任した山本さんから「魅力ある出版白門会作り」「若年層の入学促進」が急務とのメッセージをいただきました。

会員各位の勤務する会社等に白門同窓がいる場合には率先してお声がけをお願いいたします。

■中央大学駿河台記念館が建て直し(=ロースクール移転など含む)のため、11月末日をもって閉館します。10年後を見据えた中長期事業計画「Chuo Vision 2025」の策定によるものです。

①出版白門会ホームページのご案内

アドレスは <http://pub-hakumon.jimdo.com/> です。Google や Yahoo といった検索サイトで「出版白門会」を検索すると上位にヒットしますので、そこからのアクセスも可能です。

②出版白門会事務局へのご連絡は下記メールアドレスをご利用ください。

E-mail: pub.hakumon@gmail.com です。

■会費未納の皆様へ(年会費金額¥5,000)

①同封の振込用紙にて、もしくは下記口座へお振込みをお願いいたします。

郵便振替口座記号番号 00180-8-600659

加入者名 中央大学学会出版白門会

振込用紙がなくても、直接郵便局の窓口や ATM でも手続きができます。ゆうちょ銀行の口座をお持ちの方は、ゆうちょダイレクト(パソコン、携帯、スマホなど)もご利用いただけます。

②他行(銀行など)からの振込みをされる場合は下記口座をご指定のうえ、手続きして下さい。

ゆうちょ銀行 当座預金

店名(店番) 〇一九(ゼロイチキユウ)

口座番号 0600659

口座名義 チュウオウダイガクガクインカイシュツパンハクモンカイ

出版白門会は皆様の会費のみで運営しております。ご協力のほど何卒よろしくをお願いいたします。

編集後記

～嬉しいこと～
令和の時代に入っの初めての「号」となりました。

同時に今年の総会にて平成卒業組の中でも特に若いお二人がそれぞれ、新書記・新組織委員長に就任されました。出版白門会発足から20年の大きな節目に若い力のパワーを存分に発揮してもらえよう、会をあげて応援していきますよ。

～残念なこと～

大学を取り巻く社会情勢の変化から、Chuo Vision2025の策定の下、卒業生の憩いの場であった駿河台記念館がこの11月をもって閉館。多摩キャンパスで育った自分たち世代よりも多くの先輩たちが学んび、思い入れの深い駿河台キャンパスの一角にあったこの記念館が発展的解消をもつての取り壊し。悲しみの先にはきっと新しい母校の未来が待っていることでしょう。暫しのお別れ。

(北村)